

糖尿病リハのエキスパートが教える

PT・OT・STのための 糖尿病を基礎から理解するセミナー

2026年4月19日(日) 9:30~11:50(予備時間12:00まで)(9:15~Zoom受付開始)

阿部 誠也 先生


 湘南藤沢徳洲会病院理学療法士
 東北文化学園大学医療福祉学部理学療法学
 専攻卒業
 糖尿病療養指導士
 預防医療や先進医療をわかりやすく伝える
 フリーライター
 障害や病気を持つ人の「自分らしい働き
 方」を支援するキャリアコンサルタント
 (国家資格)

**糖尿病を徹底的に理解したい人
のためのセミナーです**

全身の血管にダメージを与え、足を奪い、視力を奪い、腎臓や心臓や脳を破壊する。神経を犯して、思考まで奪い去る。本人も気付かぬほどゆっくりと。——これが糖尿病の現実です。

あらゆる病の根底には糖尿病が潜んでいます。糖尿病はリハビリテーションにとって、避けては通れない最大最強の敵です。

高血糖がどうやって血管や神経を破壊し全身をむしばむか、薬の複雑さや、なぜ運動で血糖が下がるのか。

これらの仕組みは実はかなり複雑。そこには、複雑に絡み合う無数の機構が働いています。

この複雑さを、「点」ではなく「線」で繋ぎ、本質的に理解している療法士は、決して多くありません。

糖尿病という疾患を、もう一度「根本から理解する」ためのセミナーです。

気鋭の医学史研究者がお送りする

理学療法のルーツを知るセミナー

2026年4月19日(日) 13:00~15:20(予備時間15:30まで)(12:45~Zoom受付開始)

渡邊 宏樹


 湘南藤沢徳洲会病院リハビリテーション
 室長・立命館大学大学院先端総合学術
 研究科・呼吸療法認定士・心臓リハ指導
 士・心不全療養指導士・集中治療理学療
 法士・Knowledge Link代表

**理学療法、リハビリテーションの
成り立ちやその後の歩みを理解
したい人のためのセミナーです**

理学療法の始まりは、整形外科の後療法、結核の運動療法、ドイツ由来の物理療法、そして...。実はかなり多様な源流があります。

また、明治維新でドイツ医学を採用したこと、戦後のアメリカ統治の影響も多分に受けているのです。

その多様な流れの中で、「Physical Therapy」はなぜ「理学療法」と呼ばれるようになったか。

なぜ理学療法士には開業権がないのか。

業務独占ではなく、名称独占なのはなぜか。その意味は何か。
 医師の指示が必要なのはなぜか。

他にも...、私たちが気づかないまま見過ごしている問いは、いくつもあります。

理学療法という名前に込められた意味と制度の成り立ちをたどり、理学療法の原点をもう一度見つめ直してみませんか？

リハを深く理解する1日

Zoom【集中】webセミナー
2026.4.19 [SUN]

お申し込みは **Webサイト** で賜ります**ナレッジリンク****検索**

ナレッジリンクHP

